

令和5年 2月10日 (金)

あさひの日だまり

NO.37

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～保護者の皆様にお願ひです～

「赤ちゃんが生まれます」の授業をしました

1年生の担任をしております牛山沙映が、このたび妊娠いたしました。現在4か月を迎えております。今後、産休をいただくこととなります。出産予定は8月の中旬ですので、お休みを6月の中旬からいただきます。保護者の皆様にはご心配やご迷惑をおかけいたしますがよろしくお願ひいたします。

9日の5時間目に1年生の子どもたちに牛山先生が授業をしました。内容は、「子どもができるということ」です。これからお母さんの体の中ではどんなことが起きていくかということ。お父さん母さんのその時の気持ち。そういうことをスライドを使いながら子どもたちに語りかけました。「お腹の外の音が子どもには聞こえるんだよ」と伝えると、子どもたちは嬉しそうに「赤ちゃん、聞いて！聞いて！」と言わんばかりに、牛山先生へ向かって声を発していました。

スライドにお腹の中の赤ちゃんが映し出されると、「これ先生の？」と身を乗り出して問いかけていました。

大きなおなかを赤ちゃんが中から蹴っている写真を見て「これって卵？」と問いかけている子もいました。一生懸命に先生に問いかける子どもたちの姿を後ろから見ながら、思わず自分自身の表情がほころぶのを感じていました。

牛山先生に後から聞いてみると「ほとんどの子が、お腹の中に赤ちゃんがいるのは30日くらいまでだと思っているんです」「赤ちゃんが生まれたら私がすぐに学校へ帰ってくると思っているんですね」とお話ししてくれました。私は、牛山先生が、自分のお腹の中の子どもと、目の前の子どもたちを重ねながら、そして、自分自身と子どもたちのお母さんを重ね合わせながら、自分の言葉で一言一言思いを込めて授業を下さったことをとても嬉しく思いました。授業の中で、「きっとみんなのことをお母さんはこんなふうに思っていたんだよ」とやさしく話して下さる様子にも心を動かされました。そして、これから次第に大きくなるお腹の中のお子さんのことや、先生の思いを子どもたちと過ごせる時間の中で、たくさんたくさん子どもたちに語って欲しいと思いました。



～校長講話がありました～

私の「挑戦」の報告をしました

7日(火)に校長講話をとっていただきました。2学期の終業式で「凧作りに挑戦します」とお話しした結果をパワーポイントを使って報告しました。お話しした内容と写真です。目を通していただけたら幸いです。

題「校長先生の凧は舞いあがったか」

冬休みは、好天が続き、風が全く吹きませんでした。休みが明けた週末に、居間の窓から見える木の枝が風に揺れているのが見えました。待ちに待った風がようやく吹きました。裏の麦畑に行ってみると、風がときどき強く、時々弱く吹いていました。先生はあわてて車の中から、学校から持ち帰った凧を取り出しました。風がやまないように折りながら凧を大事に抱えて、麦畑へ急ぎました。先生は凧を畑に汚れないようにおいて、あわてて家へもどりました。そして、奥さんにお願ひしました。「このカメラで凧をあげているところを撮って」と。

奥さんは言いました「上手く上がるところが撮れるかしら」答えて先生は言いました。

「終業式で、昔作った凧が上がらなくて悔しかったから、校長先生は再挑戦したかったんだという話をしたんだよ」



「上手くいけば嬉しいけど、上手く上がらなくてもいいんだ。挑戦しているところを見せてあげたいんだ」

さあ校長先生の挑戦の写真です。

凧を下において、風が来るのを待って引っ張りました。少しあがりました。ゆっくりと少し高くあがりました。

安定せずに左右に揺れました。ときどきバランスを崩してひらひら落ちてきました。風が強くなるとまた風を受けて高く昇っていきました。

校長先生は、奥さんに「どう、どう？」って聞きました。私が喜んで麦畑の中を走っている姿を見ながら、すごいすごい あがってるじゃん。と一緒に喜んでくれました。

誰かが一緒に喜んでくれるってとっても嬉しい気持ちになりますね。最後は校長先生がカメラに入らないほど高く昇っていきました。

前の時は、一生懸命苦勞して作ったのですが、1mもあがりませんでした。

先生は不器用だし、きっと細かいものづくりは、何をやってもうまくできないだろうとあきらめていました。

あきらめるといことは正直言うと少し悲しい気持ちでした。

自分で作った凧が、風を受けてあがるなんて信じられない気持ちでした。

右に左に揺れて、落ちそうになりながらあがっていきました。

買った凧みたいに一色線には登りませんでした。よたよたしながら、凧が、一生懸命先生の願いをかなえてくれている気がしました。校長先生は、ちょっと、工作に自信が付きました。そして、今、実は次の挑戦を考えているんです。

それは・・・なんだと思いますか？

それは、やっぱりずっと前に挑戦したけどうまくいかなかったことなんです。

みなさん、竹トンボを作ったことはありますか？

次の挑戦は竹トンボです。ぐんぐん空へ向かって登っていく、超すごい竹トンボです。

みんなが、「オー」って言ってくれるような竹トンボです。今、すごくドキドキしています。

一生懸命頑張ってみます。

一生懸命になって挑戦できることが見つかるって、とってもウキウキします。

竹トンボが上手くできるかどうか、結果をまた皆さんに報告します。